

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公開番号】特開2018-197241(P2018-197241A)

【公開日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-048

【出願番号】特願2018-131927(P2018-131927)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/485 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/20 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/485

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/20

A 6 1 P 25/04

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月18日(2019.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)乱用されやすい活性物質、及び

(b)約6200ダルトン～約7800ダルトンの重量平均分子量を有するPEG

を含む即時放出性乱用抑止性カプセル剤。

【請求項2】

カプセル剤が、少なくとも約60wt%のPEGを含む、請求項1に記載のカプセル剤。

【請求項3】

活性物質が酒石酸水素ヒドロコドンである、請求項1又は2に記載のカプセル剤。

【請求項4】

活性物質がオキシコドンHClである、請求項1又は2に記載のカプセル剤。

【請求項5】

(a)乱用されやすい活性物質、

(b)約60 以上の融点を有する第1のPEG、及び

(c)約57 以下の融点を有する第2のPEG

を含む即時放出性乱用抑止性カプセル剤であって、

カプセルの内容物が40 / 相対湿度75%で固体であり、投与又は溶出試験後45分以内に活性成分の少なくとも75%がカプセルから放出される、即時放出性乱用抑止性カプセル剤。

【請求項6】

第1のPEG及び第2のPEGが、合わせてカプセル剤の少なくとも約60wt%である、請求項5に記載のカプセル剤。

【請求項7】

活性物質が酒石酸水素ヒドロコドンである、請求項5に記載のカプセル剤。

【請求項 8】

活性物質がオキシコドンHClである、請求項5に記載のカプセル剤。

【請求項 9】

治療有効量の請求項1～8のいずれかに記載のカプセル剤を含む、痛みを治療するのに使用される組成物。